

令和5年度 第2回たかつコミュニティスクール 議事録

日 時	令和5年8月28日（月） 9時30分～11時15分
場 所	神奈川県立高津支援学校 川崎北分教室
出 席	学校運営協議会委員 8名 事務局 9名
問合せ先	副校長 埜崎 真弓 電話 044-865-4921（直通）
<p>1 校長挨拶</p> <p>会場は川崎北分教室。神奈川県では、高等部希望者が増加したため、平成16年より分教室が設置された。現在20分教室がある。管理職は常駐していない。平成22年に川崎北分教室、平成23年に生田東分教室がスタートした。高校教室の5教室を借りてスタートしたが、現在は6教室使用できるようになった。</p> <p>本日はよろしくお願ひします。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>横浜国立大学にて行われた、日本特殊教育学会に参加した。日程は3日間で『個別教育の今後』『ICT活動』等がテーマであった。</p> <p>本日は2回目の学校運営協議会、どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>3 前回の協議会のご意見等について</p> <p>副校長より報告</p> <p>4 川崎北分教室視察</p> <p>分教室長より説明</p> <p>5 分教室の取組、活動の様子のご報告、協議</p> <p>生田東分教室と川崎北分教室について各分教室長より報告</p> <p>6 協議</p> <p>Q いろいろな選択肢がある中で、分教室のアピール方法はどのようなものか。</p> <p>A 入学選抜の募集要項に、自力通学、一斉授業、給食なし等ある。まずはいろいろな学校説明会に参加し、説明を聞いた上で選んでいただいている。特徴を伝え、生徒がやりたいことが本当にできるのか等確認していただき、進路選択の参考にさせていただいている。</p>	

Q 生徒同士の対立もあると思うが、どのような対応をしているのか。

A 双方の話をよく聞き、その上で原因と考えられるものを取り除くようにしている。お互いの個性を理解させている。教員の調整が必要である。

Q 進路の考え方も変わってきている。身体障害がある方にも少ないが給料を支払っている。障害がある方も働くことが大切だが、給料をもらって働くことについてどう考えているのか？

A 社会に出ていくことを基本に指導している。何年かかるのかは個々によって違うが、社会に出てから役に立つ指導をしている。

Q PTAとしては、分教室の様子がよくわかっていない。本校の保護者にももっと情報交換ができる場があると良い。以前はたかつふれあいまつり等で情報が入ってきた。

A 文化祭、ふれあいまつり等で成果を発表してきた。何かしらの形で伝えていけるとよい。スクールバスなどをもっと利用できるとよいが、本校の体育館、教室はなかなか使用ができない（空き教室がない）現状がある。

8 部会の取組等報告・協議

各委員と事務局が3つの部会に分かれ、報告及び協議

○まなび部会

・後期個別教育計画とたかつ系統表について

考え方ややり方等について教員研修を行った。教員と保護者が同じ言葉で話せることは利点となる。高等部を卒業した後も学び続けることをどのようにして根付かせていくのか、指導・計画を立てていかなければならない。学ぶ姿勢を学ぶことが重要。

○あんぜん部会

・避難所宿泊体験訓練について

何もない体育館に泊まったらどうなるだろうという視点のもと、11月に実施。地域の取組、地域防災対策等の現状を伺った。

○あそび部会

・余暇活動との接点について

コロナが明け、いろいろなイベントが数年ぶりに再開している中、地域との連携や地域のイベントに学校としても参加できるか等、引き続き情報交換を継続していく。

9 校長挨拶

学校の状況を伝え、いろいろなご意見をいただいた。コロナが終わり、安全に留意しながら、教育活動を行っていきたい。「学び続けることを学ぶ」ことが大切。

本日はありがとうございました。

【配付資料】

- ・令和5年度第2回たかつコミュニティスクール開催要項
- ・令和5年度第1回たかつコミュニティスクールご意見
- ・令和5年度まなび部会資料
- ・令和5年度あんぜん部会資料
- ・令和5年度あそび部会資料
- ・学校だより「スマイルのたね」第66号